

－多摩川のつる植物の繁茂とその対策を考える現地見学会－

多摩川中流部左岸に位置する狛江水辺の楽校では、2001年頃からアレチウリなどのつる性植物が急速に繁茂し、オギの群落を覆いはじめました。

地元の市民（団体）の方々はオギ原を守るため、2002年からアレチウリの駆除に取り組むはじめました。駆除活動は、市内の小学校とも連携し、草刈、草抜きなど徐々に大きな活動となってきました。しかしながら、アレチウリを駆除してもオオブタクサやキクイモなどの外来植物に置き換わるなど目標としたオギ原の再生は思うように達成できない現実に当惑しています。一方、近年では残されたオギ原もクズなどの在来のつる植物に覆われ始め、外来植物の駆除のみならず、在来のつる植物の扱いにも苦慮しています。現在、外来植物のみの駆除対策からさらに、高水敷全体の植生管理の問題に直面しているといっても過言ではありません。

今回の勉強会では、狛江の水辺の楽校の現状を視察していただき、今後の外来植物駆除対策からさらに進んで、高水敷全体の植生管理のあり方について意見交換できればと考えております。

〔概要〕

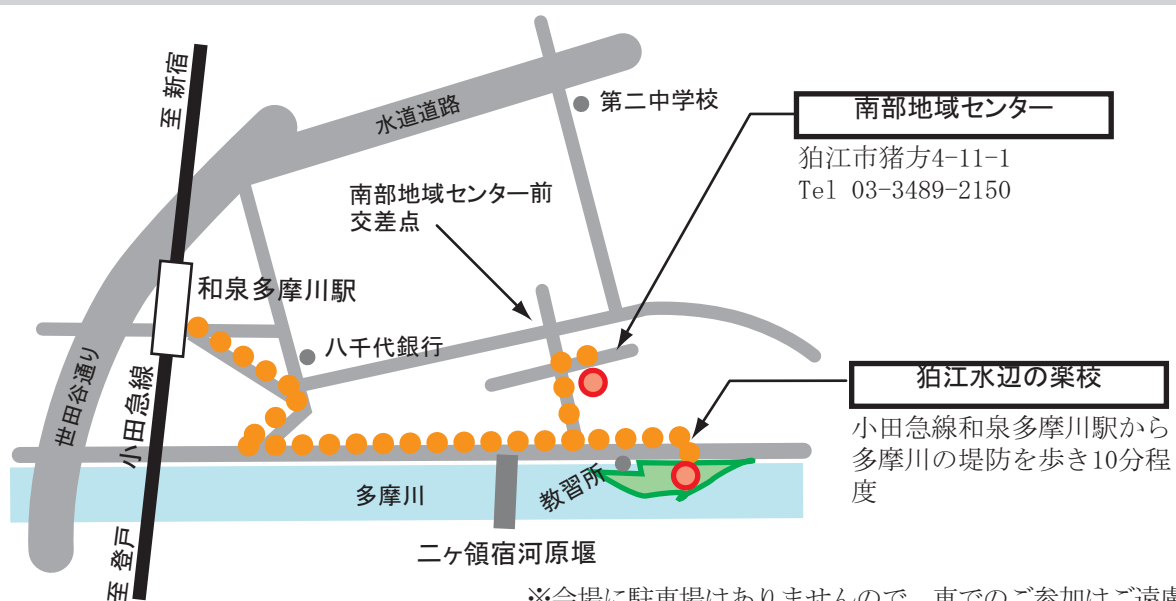
日時 2008年11月9日(日) 10:00～15:30 (少々の雨でも実行します。)  
 場所 多摩川狛江水辺の楽校 狛江市南部地域センター  
 集合 狛江水辺の楽校くるみ広場 (最寄駅：小田急線和泉多摩川駅)  
 持ち物 帽子・飲み物・お弁当 (※服装は長袖・長ズボンでお願いします。)

主催 応用生態工学会（東京）  
 協力 狛江水辺の楽校

プログラム

10:00 狛江水辺の楽校 現地集合  
 10:00～10:15 受付・挨拶など  
 10:15～12:00 狛江水辺の楽校の自然観察  
     ・アレチウリ・クズなどのつる植物の繁茂状況  
     ・GPSを活用した市民による河川生態モニタリング調査体験  
         (植物群落・稀少種・土壌など)  
 12:00～13:00 昼休み(移動・狛江市立南部地域センター いちょうの間)  
 13:00～13:30 多摩川河川敷のつる植物の特性(仮題★) (浅枝隆 埼玉大学院教授)  
 13:30～14:15 狛江水辺の楽校の河川環境の変遷  
 14:15～15:30 意見交換(狛江水辺の楽校の方や河川管理者を交えて意見交換を予定)  
 15:30 解散

案内図



※会場に駐車場はありませんので、車でのご参加はご遠慮ください。

※参加をご希望の方は、11月5日(水)までに西までメールでお申し込みをお願いします。

申し込み先：西 浩二 (いであ株式会社) E-mail:nis18209@ideacon.co.jp  
 当日の連絡先：高橋 和也 (応用地質株式会社) 携帯TEL：090-2674-6769